

令和2年度 いでは文化記念館運営協議会

令和3年3月19日（金）9時30分

いでは文化記念館2階 レクチャールーム

〈 次 第 〉

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 協 議

（1）令和2年度事業実施状況について

（2）令和3年度事業計画（案）について

（3）その他

4. 閉 会

いでは文化記念館運営協議会委員名簿 (任期：H31. 4. 1～R3. 3. 31)

NO.	区分等	氏名	所属等	推薦根拠	3/19 出欠
1	会長	島津 慈道	羽黒山正善院 住職	学識経験 出羽三山文化 市文化財保護審議委員	出席
2	副会長	粕谷 典史	宿坊組合 組合長	地域連携	出席
3		後藤 昶司	出羽三山山岳宗教 研究所主幹	学識経験・古文書	出席
4		宮野 直生	出羽三山神社 宮司 出羽三山歴史博物館 館長	出羽三山文化	代理 (権宮司 阿部)
5		工藤 純平	NPO 蜂子山社中	地域連携	出席

(敬称略)

事務局体制 (令和2年度)

	氏名	所属等	備考
1	秋葉 敏郎	羽黒庁舎産業建設課 課長	出席
2	宮本 新也	羽黒庁舎産業建設課 専門員	出席
3	菅原 大輔	羽黒庁舎産業建設課 専門員	
4	伊藤 寛実	羽黒庁舎産業建設課 専門員	

指定管理者 (羽黒町観光協会 平成28年4月1日から)

	氏名	所属等	備考
1	星野 博	羽黒町観光協会 会長	
2	國井 儀昭	羽黒町観光協会 事務局長	出席
3	吉住 弘幸	羽黒町観光協会 係長	
4	山崎 安奈	羽黒町観光協会 いでは文化記念館 学芸員	出席
5	菅原 真一	羽黒町観光協会 主任	
6	齋藤 聖子	羽黒町観光協会 嘱託職員	
7	早坂 美津穂	羽黒町観光協会 事務員	

令和2年度 いでは文化記念館事業 実施状況について

1. 企画展示

(1)「第20回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」

展示期間：令和2年4月17日(金)～令和2年7月27日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で主催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品合計38点を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信した。

入館者数：468人

※例年、入選作品10点、魅力発見賞25点、観光協会特別賞5点の合計40点を展示しているが、今回2作品が受賞を辞退したため、合計展示点数が38点となった。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令のため、4月6日(月)～5月14日(木)の期間は休館し、来館者の受け入れは行わなかった。

※緊急事態宣言による休館期間が生じたことから、開催期間を約一か月延長した。

(2)「疫病退散～いにしへの祈りと願い～」

展示期間：令和2年8月1日(土)～令和3年4月12日(月)

展示内容：新型コロナウイルスが全世界で猛威をふるった本年、当初の企画展テーマを変更し、現在多くの人に関心を持つであろう「疫病」をテーマにした企画展を開催した。企画展示では、羽黒山の開山伝説にまつわる疫病とのかかわりや、松例祭の起源、湯殿山行者と疫病に関する信仰、天宥別当と羽黒山牛頭天王のかかわりやその背景について紹介し、人々が疫病とどのようにかかわってきたかを探った。

入館者数：3236人(令和3年2月28日現在)

2. いでは文化記念館企画展示記念イベント

(1) 企画展開催記念イベント「岩手・鬼剣舞特別公演～疫病退散の舞」

○出演／滑田鬼剣舞保存会(岩手県北上市)

○日程／9月20日(日) 13:30～15:00

○場所／いでは文化記念館レクチャーホール

○内容／企画展記念イベントとして、岩手県北上市の滑田鬼剣舞保存会をお招きし、鬼剣舞の特別公演を行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加は事前申し込み制とし、当日は参加者全員の検温と体調のチェック、アルコール消毒を呼びかけ感染予防対策を図った。

○関係団体／いでは文化記念館・羽黒町観光協会・岩手県北上市滑田鬼剣舞保存会

参加人数：70名(出演者・観客含む)

(2) 日本遺産の日：いでは文化記念館無料開放&ギャラリートーク

○日程／2月13日(土) 9:30～16:00

○内容／日本遺産の日を記念して、出羽三山『生まれかわりの旅』の情報コーナーも設置している「いでは文化記念館」を特別に無料開放し、学芸員による企画展「疫病退散～いにしへの祈りと願い」のギャラリートークを行った。(1回目10:00～、2回目13:30～)

参加人数：44名(午前19名/午後25名)

3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

羽黒山信仰を連綿と支えてきた門前町・手向地区。修験者が住み信仰の歴史を伝える文化財が点在する門前町の歴史にスポットをあてその魅力を探る。

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

■目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。

■講師 後藤 赴司 氏 (出羽三山山岳宗教研究所 主幹)

■会場 いでは文化記念館レクチャーホール

■日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日 ■回数 全10回

※今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

令和2年度その他イベント

*第62回奥の細道羽黒山全国俳句大会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため前夜祭並びに本大会を中止

その他：いではエントランス案内パネル、顔出しパネルの設置※案内パネルは令和3年3月末予定



↑企画展開催記念イベント「岩手・鬼剣舞特別公演―疫病退散の舞」



↑日本遺産の日 いでは無料開放&ギャラリートーク



↑オリジナル顔出しパネル設置

添付書類

- *令和2年度
- ・入館者実績・施設利用実績・入館料実績
- ・企画展に関する来館者からのご意見・ご感想

令和2年度 いでは文化記念館 入場 人数・売上 年間集計表 (令和3年2月28日現在)

個人客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	14	¥5,200	0	¥0	1	¥200	0	15	¥5,400
5	32	¥12,800	0	¥0	0	¥0	3	35	¥12,800
6	105	¥42,000	0	¥0	2	¥400	4	111	¥42,400
7	279	¥107,650	2	¥600	2	¥400	40	323	¥108,650
8	525	¥207,200	20	¥6,000	18	¥3,600	9	572	¥216,800
9	443	¥176,800	11	¥2,550	14	¥2,800	73	541	¥182,150
10	390	¥154,600	4	¥1,200	14	¥2,800	9	417	¥158,600
11	375	¥148,600	6	¥1,800	7	¥1,400	23	411	¥151,800
12	78	¥30,800	8	¥2,400	1	¥200	6	93	¥33,400
1	25	¥9,600	2	¥600	0	¥0	2	29	¥10,200
2	39	¥15,600	1	¥300	2	¥400	89	131	¥16,300
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	2305	¥910,850	54	¥15,450	61	¥12,200	258	2,678	¥938,500

団体客									
月	大人		高・大学生		小・中学生		減免 人数	合計	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額		人数	金額
4	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
5	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
6	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
7	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
8	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
9	26	¥9,100	0	¥0	165	¥0	0	191	¥9,100
10	22	¥7,700	0	¥0	135	¥45,000	0	157	¥52,700
11	20	¥7,000	174	¥43,500	17	¥2,550	0	211	¥53,050
12	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
1	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
2	0	¥0	0	¥0	95	¥14,250	0	95	¥14,250
3	0	¥0	0	¥0	0	¥0	0	0	¥0
合計	68	¥23,800	174	¥43,500	412	¥61,800	0	654	¥129,100

月	展示入場者合計		施設使用	
	人数	金額	人数	金額
4	15	¥5,400	40	¥0
5	35	¥12,800	22	¥0
6	111	¥42,400	31	¥0
7	323	¥108,650	0	¥0
8	572	¥216,800	68	¥9,600
9	732	¥191,250	327	¥29,460
10	574	¥211,300	345	¥22,000
11	622	¥204,850	204	¥7,030
12	93	¥33,400	37	¥3,910
1	29	¥10,200	5	¥0
2	226	¥30,550	0	¥0
3	0	¥0	0	¥0
合計	3332	¥1,067,600	1079	¥72,000

施設使用内訳(人数)			
有料 人数	減免 人数	観光協会 人数	合計
	0	40	40
	22		22
		31	31
			0
39	8	21	68
257		70	327
285	60		345
188	16		204
37			0
	5		5
			0
			0
806	111	162	1042

月	合計(展示入場・施設使用)		トイレ休憩利用	来館者 総合計
	人数	金額	人数	人数
4	55	¥5,400	67	122
5	57	¥12,800	424	481
6	142	¥42,400	875	1,017
7	323	¥108,650	1,896	2,219
8	640	¥226,400	2,591	3,231
9	1,059	¥220,710	2,195	3,254
10	919	¥233,300	3,197	4,116
11	826	¥211,880	3,423	4,249
12	130	¥37,310	652	782
1	34	¥10,200	256	290
2	226	¥30,550	703	929
3	0	¥0	0	0
合計	4,411	¥1,139,600	16,279	20,690

年度	入館者数(人)			合計	備考
	展示入館	貸館・イベント	観光案内・トイレ等		
H17	5,941	2,244	データなし	8,185	
H18	5,963	2,484	データなし	8,447	
H19	7,330	2,405	データなし	9,735	
H20	6,857	2,481	データなし	9,338	
H21	7,727	3,025	データなし	10,752	丑年御縁年
H22	6,556	2,652	データなし	9,208	
H23	6,196	2,673	データなし	8,869	東日本大震災(H23.3.11)
H24	6,723	1,919	14,577	23,219	トイレ利用等のカウント開始
H25	6,686	3,118	16,219	26,023	
H26	5,831	3,105	20,141	29,077	午年御縁年
H27	5,969	3,444	21,176	30,589	
H28	5,538	3,109	27,460	36,107	指定管理者制へ移行 団体の立ち寄りが多い?
H29	6,561	2,132	23,323	32,016	メディアに取り上げられた 企画展(妖怪)の来館者多数
H30	5,491	2,794	22,113	30,398	
R1	4,821	2,325	21,938	29,084	山形県沖地震による風評被害と 施設の破損
R2 (2月)	3,332	1,079	16,279	20,690	コロナウイルスによる臨時休館 (4/6~5/10)、イベント自粛

令和3年度 いでは文化記念館事業計画（案）について

1. 企画展示

(1) 展示名「第21回出羽三山の里フォトコンテスト入選作品展」(仮)

展示期間：令和3年4月16日(金)～6月21日(月)

展示内容：羽黒町観光協会で開催する『出羽三山の里フォトコンテスト』の入選作品を集め展示し、来館者に出羽三山の魅力を発信し誘客の契機を目的とする。

(2) 展示名湯殿山丑年御縁年記念特別展(出羽三山神社連携事業)

「秘奥深密(ヒミツ)の湯殿山—語られぬ山の物語—」(仮)

展示期間：令和3年6月26日(土)～11月29日(月)

展示内容：テーマは「湯殿山信仰」。令和3年度が丑年御縁年であることを記念して、湯殿山信仰と羽黒山と湯殿山の歴史的関係、関連資料を展示する。

出羽三山といえば、いまでこそ羽黒山、月山、湯殿山の三山を指しているが、古くは鳥海山や葉山がその中に数えられており、湯殿山はそれら三山とは別格の奥の院という扱いであった。それが時代の変遷とともに、江戸初期から出羽三山の一つとして組み込まれていく。古くから三山の奥の院＝もっとも重要な場所として厚く信仰されてきた湯殿山。羽黒修験との歴史的な争い、江戸時代後期から隆盛した即身仏信仰、明治の神仏分離以降に栄えた御沢仏信仰など、三山の中でも独自の信仰を貫いてきた湯殿山の知られざる「ヒミツ」に迫る。

(3) 展示名「山伏(ヤマブシ)と山立(ヤマダチ)—山に生きる人々のなりわい—」(仮)

展示期間：令和3年12月4日(土)～令和4年4月11日(月)

展示内容：古くから山は、神仏の宿る場所であり人間に人知を超えた力を授ける場所と考えられてきた。その厳しい山中で修行を積み人知を超えた力を持つとされ、その修行者たちは山伏と呼ばれた。一方で、山に入り、狩猟を生業とする人々は猟師でありながらも山岳信仰を根本に、神への畏敬の念を持ち、厳格な習わしのもとに獣を捕った。彼らは山立と呼ばれた。山に「伏す」者と、山に「立つ」者、この対称的ともいえる山の人々が、どのように生き、何を信じ、暮らしてきたのかを探る企画展。

2. いでは文化記念館企画展示記念講演会

『羽黒山伏と学ぶ・江戸庶民のアイドル！於竹大日如来を知る講座』(仮)

講師：宝井琴桜（講談師）、長南慈恵氏（羽黒山荒澤寺正善院副住職）

○日時／未定（10月） 13：30～15：00

○場所／羽黒山荒澤寺正善院 本堂・於竹大日堂

○目的／一昨年度は台風で、昨年はコロナで中止となったイベントを今年度スライド開催。湯殿山信仰というテーマに沿って、お竹大日如来についての講演を行う。講談師による講談「お竹如来」の開催、そして副住職様によるお竹大日如来の

絵解、お竹大日出現の背景にある江戸時代の女性観、お竹さんの話にこめられた出羽三山信仰(羽黒修験)の教えについてなどお話しいただく。

関連イベント案 企画展記念・その他イベント

①「東北DC事業および丑年御縁年記念事業（出羽三山神社連携事業）

「出羽三山歴史博物館・いでは文化記念館共通入館券事業」(仮)

期間：企画展「ヒミツの湯殿山—語られぬ山の物語—」開催期間内 6月末～11月末まで

2021年が湯殿山丑年御縁年という特別な年であり、なおかつ東北デスティネーションキャンペーンの年にあたるため、出羽三山神社ではさまざまな記念事業が行われる。それに併せて、今年度いでは文化記念館では誘客事業の一つとして「湯殿山信仰」をテーマに羽黒山を中心に出羽三山周辺の観光に取り組む方針である。出羽三山歴史博物館といでは文化記念館とで関連した企画展示を実施し、誘客を図るため共通入館券を発行する。という予定であったが、「今年度の歴史博物館では御沢仏を安置することから観覧ではなく参拝という形式をとる＝博物館施設とは異なる」という理由で当館との差別化のため、2館共通券発行について、出羽三山神社側から難色を示された。よって代替案として、歴史博物館・特別拝観受付所に当館の割引券を設置し頒布することを予定している。

②「い〜い湯殿(湯だな) ☺ キャンペーン」(仮)

期間：企画展「ヒミツの湯殿山—語られぬ山の物語—」開催期間内 6月末～11月末まで

割引対象：企画展有料入館者(招待券・割引券利用者含む)

入館者は企画展チケット提示で、羽黒地域の温泉施設を割引価格で利用することができる。ゆぼか・休暇村・湯殿参籠所などの日帰り入浴施設→交渉次第。三か所の温泉それぞれで利用できる特典を記載したチラシを、展示入館者に配布する。利用者は各温泉施設でそのチラシを提示することで特典を受けることができる。

③『アナタも即身仏に!? ^{フォトケ} 仏 ジェニックな土中入定体験』(仮)

○期間：企画展「ヒミツの湯殿山—語られぬ山のモノガタリ—」開催期間内

○場所／いでは文化記念館 企画展示室

○目的／展示室エントランス付近に土中入定の石室をイメージしたセットを設置し、来館者に即身仏の気分を体験してもらおう。写真撮影可能スポットとし、SNSにおける企画展の情報拡散の狙いもあります。予算的に難しい場合、立体セットではなく顔はめパネル式にする予定。

④『音による湯殿山の世界を体験！「湯殿山法楽」の実演(ライブ)』(仮)

○日時／9～10月

○場所／いでは文化記念館 企画展示室 or レクチャーホール

○目的／湯殿山法楽は湯殿山系寺院に伝わる特有のお経で、かつては行者たちが湯殿山での修行の際に御神仏を前にして唱えられていた。湯殿山法楽の経本に書かれている神仏名の順序と湯殿山の自然の中の御沢仏の配列は一致しており湯殿山法楽は湯殿山の自然が音楽の世界に再構成され配列された、いわば「音の湯殿山マンダラ」ともいえる。現代にいたっては、この湯殿山法楽を聴く機会は非常に限られており、一般の方はほとんど触れる機会はない。そこ

で、当館を会場に湯殿山法楽を実演していただき、より一層、湯殿山信仰への理解を深める機会としたい。可能であればライブ配信も行う予定。

⑤『歴史講座・知られざる御沢仏～湯殿山信仰にみる異形の神仏～(出羽三山神社連携事業)』(仮)

- 日時／7～10月いずれか
- 場所／いでは文化記念館 企画展示室 or レクチャーホール
- 講師／石井紀子氏(白鷹町教育委員会)
- 目的／湯殿山奥の院につづく仙人沢は八万八千の神仏が住む霊域とされ仙人沢の両岸にある色や形の変った岩や洞窟、瀧や山に○○権現・○○仏と名付けて拜まれる。これらの神仏は「御沢仏」と呼ばれている。つまり、御沢仏は湯殿山の大自然そのものを神格化したもので、大日坊や塩田行屋の御沢仏は湯殿山の大自然を偶像化したものであるといえる。この講座では、白鷹町で長年仏像の修復や調査に携わっている白鷹町教育委員会の石井紀子さんを講師にお招きし、白鷹町の塩田行屋にまつられる御沢仏にみる湯殿山信仰についてお話しいただく。

⑥『いでは文化記念館企画展ドキドキ！クイズラリー』(仮)

- 期間：企画展「ヒミツの湯殿山—語られぬ山の物語—」開催期間内
- 場所／いでは文化記念館 展示室
- 目的／企画展開催期間中、企画展テーマに関連した問題を5問出題し、正解者にはオリジナルグッズをプレゼントしている例年人気のクイズラリー。解答用紙は企画展のアンケートも兼ねており、来館者の率直な意見を聞くことができ、運営の参考としている。

⑦『いでは文化記念館オリジナル出羽三山ガチャポンの設置』(仮)

- 場所／いでは文化記念館 売店
- 目的／出羽三山の世界をもっと身近に楽しく知っていただく目的で、いでは文化記念館オリジナルのガチャポンを設置。中身は7種類+シークレット1種の全8種類。値段は1回100円。※デザイン・制作は学芸員が担当する

⑧『いでは文化記念館ギャラリートーク』(仮)

- 日時／7～11月
- 場所／いでは文化記念館 展示室
- 目的／出羽三山の歴史や文化、羽黒修験について、当館の学芸員がわかりやすく解説する。市外の方や来館できない方も楽しめるよう、ツイキャスを使用したリアルタイムのオンライン配信も行う。

⑨『いではわくわくワークショップ・

羽黒山の杉の木を使ったオリジナルの樹脂アクセサリーを作ろう』(仮)

- 日時／7月 or 8月 9:00～12:00
- 場所／いでは文化記念館 レクチャールーム

○目的／さまざまな手作り体験を通して、出羽三山の歴史や文化に触れてもらうワークショップを開催。季節のものや地域にゆかりのあるものをテーマに、楽しく遊び学べる機会とする。今回は羽黒山の杉の木を使ったオリジナルの樹脂アクセサリー(ウッドレジン・アクセサリー)を制作する。

定員 10名

参加費 1500～2000円／1人 ※入館料含む

⑩『いではわくわくワークショップ・

ちょうちん絵付け体験&オリジナルちょうちんを持って五重塔夜間参拝へ』(仮)

○日時／未定 16:00～19:00

○場所／いでは文化記念館 レクチャールーム

○目的／さまざまな手作り体験を通して、出羽三山の歴史や文化に触れてもらうワークショップを開催。季節のものや地域にゆかりのあるものをテーマに、楽しく遊び学べる機会とする。今回はちょうちん絵付け体験。羽黒山や出羽三山モチーフのイラストなどを描いて、オリジナルのちょうちんを制作する。

参加者は作ったちょうちんを持って五重塔ライトアップを見に行く。

定員 10名

参加費 1500～2000円／1人 ※五重塔夜間参拝料・入館料含む

⑪いでは文化記念館常設展示室タッチパネルの導入

常設展示室にタッチパネル機器を導入し、子供向けの学習コンテンツを充実させる。

所蔵資料(戸川安章コレクション含む)や、2階で展示していた出羽三山の古写真をデジタルデータ化して公開することも検討する。

機器の設置費、コンテンツの開発費は、市でR3年度予算として要求中。

◇タッチパネルのコンテンツ(案)

(1)出羽三山クイズラリー：出羽三山詣でをベースに、三山の歴史や文化に関するクイズを出題。全問正解すれば三山を詣でる(＝クリアする)ことができる。ゲームを通じて楽しく学ぶことができる。可能であれば英語版も。

(2)羽黒山の昔話(絵本映像)：戸川安章著「羽黒山二百話」を原作とした絵本映像を放送する。羽黒山の昔話を通して地域の歴史や文化に親しんでもらう。字幕付き。

(3)いでは文化記念館アーカイブ(戸川安章コレクション)：これまで紙媒体で展示していた戸川安章コレクションや、常時公開していない当館所蔵の古文書などをデジタルデータとして公開する。

(4)出羽三山の古写真：2階の出羽三山の古写真展示の内容を、デジタルデータとして公開する。2階のコーナーを常設展示室へ物理的に移動するとなると、新たにスペースが必要になるが、デジタルデータなので場所を取らないメリットもある。

3. 「羽黒山歴史探訪～門前町編～」

いでは文化記念館設置趣旨である「出羽三山文化の学習活動を高め、もって地域文化振興に資する」ため実際に周辺史跡を探訪し、羽黒山の深い歴史を身近なところから知る機会を作り地元の文化財の見直し、次世代への継承、保存意識の啓発を目的とする。

(1) 「羽黒山神路大橋開通記念 羽黒山旧月山道を辿る」(仮)

- 講師／星野 博氏 (羽黒町観光協会会長・養清坊)
- 日程／9月25日(土) 8:45～12:00
- 目的／羽黒町観光協会会長の星野博氏による案内のもと、昨年開通した羽黒山神路大橋を歩く。このほか、羽黒地域の隠れた史跡を訪ねる。移動はマイクロバスを利用。昼食は齋館で精進料理をいただく。
- コース／いでは文化記念館集合(マイクロバス移動)―羽黒山神路大橋―荒沢寺―(羽黒山有料道路・マイクロバス移動)―吹越神社―出羽三山神社―昼食(齋館)解散

(2) 「丑年御縁年記念 出羽三山奥の院・湯殿山本宮と即身仏寺を辿る」(仮)

- 講師／勝木 正人氏 (手向地区自治振興会会長・光林坊)
- 日程／10月23日(土) 9:00～13:00
- 目的／手向地区自治振興会会長の勝木正人氏による案内のもと、丑年御縁年を記念して、マイクロバスで湯殿山信仰にゆかりある場所をたどる。昼食は湯殿山レストハウス or 湯殿山参籠所を利用する。
- コース／いでは文化記念館集合(マイクロバス移動)―本明寺 or 注連寺(ご住職による説明)―湯殿山千人沢―湯殿山本宮―湯殿山レストハウスで昼食―いでは解散

4. 古文書解読・歴史講座『出羽三山を読む』

- 目的 出羽三山に関する歴史的史料を紐解き、古文書の解読技術の向上と出羽三山の歴史を広く学ぶ機会とする。
- 講師 後藤尙司氏 (出羽三山山岳宗教研究所 主幹)
- 会場 いでは文化記念館
- 日時 6月～10月まで 毎月第2・4木曜日
※いずれかの回1回は実地研修
- 回数 全10回
- 令和3年度使用テキスト・・・手向地区の村内文書、実蔵坊文書

平成18年度より実施している事業で、参加者の要望等も反映し講座内容を年々充実させてきた。平日の開催にもかかわらず、多くの皆さんが興味を持ち出羽三山の歴史の学習も見学することで年々参加者の理解と興味も深まっている。

参加者の地域に存在する出羽三山関係古文書の問い合わせも出てきていることから今後新たな歴史史料の発掘も期待でき、また、それぞれの地域の歴史と文化の継承への一

助にもなっている。こうした参加者の意識を広げていくことで重要史料の散逸・消滅の防止にもつながる。

出羽三山の歴史・文化を継承するべく人材育成のために今後とも継続して事業を実施していくとともに、新しい世代の発掘を行う。

—古文書解読・歴史講座参加人数—

実施年度	申込者数	延べ人数
平成18年度（講座回数：全14回）	17名	152名
平成19年度（講座回数：全13回）	35名	254名
平成20年度（講座回数：全12回）	50名	300名
平成21年度（講座回数：全13回）	67名	373名
平成22年度（講座回数：全11回）	53名	293名
平成23年度（講座回数：全12回）	54名	325名
平成24年度（講座回数：全12回）	55名	324名
平成25年度（講座回数：全12回）	46名	227名
平成26年度（講座回数：全12回）	52名	238名
平成27年度（講座回数：全10回）	44名	271名
平成28年度（講座回数：全10回）	38名	196名
平成29年度（講座回数：全10回）	30名	196名
平成30年度（講座回数：全10回）	24名	170名
令和元年度（講座回数：全10回）	28名	194名
令和2年度 コロナのため開催中止	—	—